

キャンパス 万華鏡 自慢のミュージアム

恐竜の標本ズラリ!



岡山理科大学

岡山理科大学恐竜学博物館は、恐竜研究の国際的な拠点形成を目指し、2018年に設立された。同大学とモンゴル科学アカデミー古生物学研究所の共同研究の成果を中心に、恐竜研究の最前線を展示している。無料で一般公開されている展示室では、迫力ある実物化石や精密なレプリカを間近に観察可能。また、標本室や化石処理室、研究室を公開しており、教職員や学生による化石のクリーニング作業や、研究活動の様子を見学できる。

医系総合大学の歩みを展示



昭和大学

昭和大学上條記念ミュージアムは、創立90周年記念事業の一環として2019年に開設された。当ミュージアムでは、4つの学部と8つの附属病院が連携して、社会に貢献できる優れた医療人を育成することにより発展してきた同大学の歩みを展示している。現在収蔵する約6000点の資料は、①学祖・上條秀介関連 ②創設時の医学専門学校と附属病院 ③昭和大学の歴史 ④医学医療の研究・教育に大別され、その中から約150点を選び展示している。

民族資料4000点を収蔵



中部大学

中部大学民族資料博物館は、「博物館相当施設(現 指定施設)」の指定を受け、博物館学芸員課程で学ぶ学生の演習の場となっている。また、収蔵資料並びに大学のコレクションにかかる調査研究や保存、公開を順次進め、企画展や講演会、公開講座を開催し、学生から一般まで幅広い層に向けて世界の民族や文化等に関する学びの機会を提供するとともに、大学の研究成果を広く内外に発信する活動を行っている。

登録博物館に認定

大学の中央キャンパス(兵庫県西宮市)に隣接する学術研究交流館の5階をギャラリーとし、広く一般に開放している。大学附属ミュージアムの基本的な役割である「大学における教育と研究の成果を蓄積し活用すること」を目的に活動しており、独自の成果として生活文化に関する収蔵品とそれを活用した展示やシンポジウム、サロンの開催などを定期的に行っている。2020年には、収蔵品のうち、着物を中心に「武庫川女子大学近代生活資料(9092点)」が登録民俗文化財に指定され、2024年7月には登録博物館として認定を受けた。

武庫川女子大学
附属総合ミュージアム

「本物」「実物」に触れる



カサウカヤの聖母マリヤ ロシア18世紀

玉川大学

玉川大学教育博物館では、教育史、芸術、民俗、考古、シュヴァイツァー関係、ガスバール・カサド原智恵子コレクション、ジョン・ゲルド鳥類図譜、そして玉川学園関係など4万点以上の資料を収蔵。広く内外に公開し、学生、生徒、児童が本物に触れる機会を提供している。今年度開催したキリスト教の聖像画「アイコン」を紹介する特別展では、ロシアとギリシアのアイコンを中心に55点の優品を展示。多くの方が見学に訪れた。

三島由紀夫の貴重なコレクション



比治山大学

比治山大学図書館の三島由紀夫文庫は著作目録「MAI」「花ざかりの森」から始まる。本を開くと「清水文雄先生 惠存 三島由紀夫」と16歳の若者らしい丁寧でさわやかな筆文字が恩師、清水先生への師弟愛を想わせ三島由紀夫という作家の原点を見ている感動を覚える。平成5年、比治山女子短期大学第二代学長清水文雄より寄贈の資料を礎として発足。清水文雄は、三島由紀夫の恩師で、終生、国文学の師と仰いだ人物。2025年1月14日は三島由紀夫の生誕100年。図書館では関連イベントを企画している。

あらたなクリエイティブな創作の場



京都美術工芸大学

京都市内の南北を流れる鴨川に面した全面ガラス張りの外観が特徴のギャラリースペース(鴨川七条ギャラリー)。在学生の作品展示や卒業制作展、教員の研究成果を公開する企画展をはじめ、外部の芸術家やアーティストの展覧会など、年間を通してさまざまな作品展示や各種イベントを行っている。明るく開放的な空間で日常的にアートや芸術に触れることができ、在学生や教員はもちろん、一般の方も利用できるギャラリーとなっている。

学術成果を展示



帝京大学

2015年9月に八王子キャンパスに開館した帝京大学総合博物館は、10学部を擁し、各種大学院・研究所・研究センターも設置している総合大学の博物館として、教育研究活動の過程で収集された貴重な学術資料や研究成果の展示を行っており、ゼミやクラブ活動の成果発表の場としても活用されている。また、「帝京大学のあゆみ」と多摩地域の歴史と自然についても常設展示している。展示や公開講座などのイベントを通して、大学の社会貢献を推進している。

古今東西の楽器が集う、 楽器学資料館



国立音楽大学

世界各地の楽器を系統的に収集・展示し、調査・研究、教育活用するほかレクチャーコンサート等のイベントも企画・開催している。約2600点の所蔵楽器のうち展示室には約300点を展示しており、いくつかの楽器は音をだすこともできる。大学開講期間中の水曜日9:30-16:30は無料で一般公開する他、同大学学生・教職員は水曜日に限らず利用ができ、授業での利用も多い。毎週開催する「楽器の10分講座」では、教員採用試験頻出楽器など世界各地の様々な楽器を紹介している。

歯学・医学・薬学に関する 史料5000点を収蔵



日本歯科大学

日本歯科大学新潟生命歯学部内にある医の博物館は、我が国初の医学博物館として、平成元年9月に開館した。歴史資料(史料)を通じて医学史を教育研究し、史料を一般公開することにより、学術文化に寄与することを目的とする。現在に至るまで唯一の医学博物館である。当館では歯科のみならず、医学や薬学に関する史料(16世紀から現在に至る東西の古医書、浮世絵、医療器械器具、薬看板、印籠など)約5000点を展示、保管している。

考古遺物を 中心に展示



鹿児島国際大学

鹿児島国際大学ミュージアムは、学芸員資格課程の高度な教育を行うことを目的として、2002年4月に開設された。さまざまなテーマの企画展や講演会などのイベントの開催を通じて、大学の持つ学術資料の情報発信や教育普及活動、大学と地域との連携促進の役割を担っている。展示室では、同大学の教員が収集した学術資料を展示しており、写真は県内外の遺跡から出土した土器や石器などの展示の様子である。同大学の教員による考古学の最新の研究成果について、実物資料やパネル、動画などのコンテンツを用いてわかりやすく解説している。

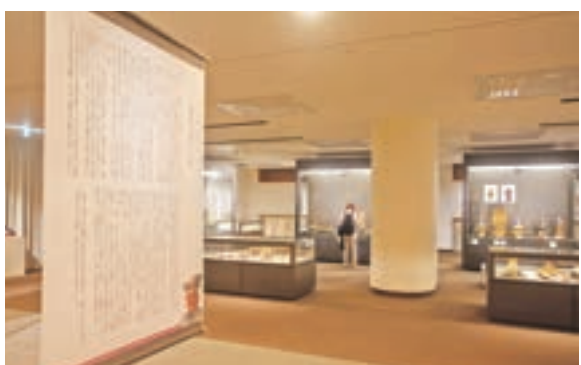
未来をひらいた研究を称えて



名城大学

名城大学天白キャンパスには青色LED発明で2014年ノーベル物理学賞を受賞した赤崎勇教授・天野浩教授、リチウムイオン電池開発で2019年ノーベル化学賞を受賞した吉野彰教授の功績を顕彰する「赤崎・天野・吉野ノーベル賞記念展示室」がある。ノーベル賞メダルレプリカや教授らがスウェーデンのノーベル博物館に寄贈した物と同じ展示品があり、科学への興味関心を促す企画も定期開催。月～土曜日の10時～16時で開室し、だれでも無料で見学できる。

浄土宗の歴史・思想・ 美術など宗教文化を テーマに



佛教大学

佛教大学宗教文化ミュージアムは、仏教学・歴史学・考古学・民俗学・美術史学などを中心に宗教文化に関する研究に取り組み、その成果を平常展示・特別展・企画展などで公開している。併設する宗教文化シアターでは、伝統芸能など無形文化財の公演やシンポジウムを開催し、地域に根差したミュージアムとして広く学びの場を提供している。また、通学・通信教育課程の博物館学芸員資格取得のための実習施設でもあるほか、地域貢献活動の一環として、近隣の小・中・高等学校による見学や授業、成果発表などにも協力していく。

洋学史料の宝庫



神田外語大学

神田外語大学附属図書館は、2024年11月6日から15日まで、神田佐野文庫企画展「洋学単語帳にみる異文化交流」を開催した。同展示では、若林正治コレクションの蘭学・英学資料から、長崎のオランダ通詞や蘭学者が編集した単語帳、文明開化期の英単語帳など29点を厳選し、単語帳を通じた異文化交流の歴史を紹介。また、初日には同展示を監修した同大学日本研究所客員教授・京都大学名誉教授の松田清氏による講演会が行われ、多くの来場者が展示と講演を通じて学びを深めた。